

+++++

各委員会紹介

+++++

■ 病床検討委員会 ■

市立札幌病院病床検討委員会は、院内の病床に関する院長の諮問機関とする目的で、平成4年4月に設置されました。

富樫副院長を委員長として、医師9名、看護師2名、医事課1名、経営企画課1名の14名の委員で構成され、事務局は、看護課・医事課で行っています。

主な活動としては、毎月1回定例委員会を開催し、一般病棟入院基本料算定に係る平均病床利用率と病棟別在院日数・病床利用率、診療科別病床利用率・平均在院日数の報告に基づいて、病床の利用状況の確認や課題の検討等を行っています。また、病院内に39床ある重症室の稼動状況と上等室A B、特別室A Bの稼動状況の報告を受けて、使用状況に応じて、各病棟の重症室確保数を本委員会で決定しています。

なお、病床検討委員会委員長の指示のもと、効率的な病床運用を図ることと待機患者の早期入院を推進することを目的に、看護部業務担当部長が総括し、看護担当課長を中心に、病床の中央管理を平成20年から運用しています。

その結果、病床利用率は、平成20年度83.0%、平成21年度82.4%、平成22年度83.2%と安定しており、平成22年度病院局実施プランは達成することができました。

また、平成23年度には新パワーアッププランに基づく病棟再編を実施し、病床数を810床から764床とし、6床病室を4床差額室に変更して病床環境を整備しました。

病床再編後も、病棟看護師長による毎朝のミーティングと電子カルテの活用により、定期入院だけでなく、臨時入院も効率的に空床調整が実施されています。

このほか、病床に関しては、積極的に病床検討委員会を通じて検討されており、現在、緩和ケア内科病床に関する検討も行われています。

今後も効率的な病床運用の実施に関する検討機関として、各部門との連携を図りながら活動を続けます。

■ 一般病棟入院基本料算定病床に係る平均病床利用率（平成20年度～平成23年10月） 単位：（%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
20年度	86.3	82.9	87.0	83.7	83.2	84.5	84.7	84.4	78.0	73.3	83.6	85.6	83.0
21年度	83.0	78.4	85.0	83.7	81.5	79.1	82.9	82.9	80.1	77.4	89.3	86.7	82.4
22年度	85.1	80.2	87.6	84.3	84.0	82.0	82.0	85.6	80.8	78.6	83.9	84.4	83.2
23年度	87.0	81.8	89.4	86.7	86.1	86.0	87.9	88.1	80.4				85.9

*救命救急センター、NICU、3東病棟、MFICUを除く。

*平成20年12月より稼動病床を697床、平成21年7月より686床、平成23年4月より644床にて算出。

■ 一般病棟入院基本料算定病床に係る平均在院日数（平成20年度～平成23年10月） 単位：（日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
20年度	15.1	15.8	14.8	14.7	14.4	14.6	13.8	14.0	13.7	14.0	14.1	14.1	14.4
21年度	13.9	14.6	14.1	13.1	13.7	13.5	13.6	14.6	13.5	14.0	14.0	13.9	13.9
22年度	14.0	14.3	13.0	13.5	13.5	13.7	14.8	14.7	13.5	14.2	14.3	13.1	13.9
23年度	13.4	14.0	13.5	14.6	13.3	13.8	14.0	13.5	12.3				13.6